

# 中 岳



## 熊本市歯科医師会会誌

第 74 号

歯 の 衛 生 週 間

在宅寝たきり者歯科保健推進事業いよいよ始動

第15回バレーボール大会

# 目 次

|                                   |         |    |
|-----------------------------------|---------|----|
| 第40回母と子のよい歯のコンクール                 | 寺 本 豊 徳 | 1  |
| 全国各地での歯の衛生週間イベント                  | 永 野 忠   | 2  |
| 在住宅寝たきり者歯科保健推進事業いよいよ始動            |         |    |
| 講演会 part II                       | 添 島 正 和 | 3  |
| 実施方法説明会                           |         | 5  |
| 熊本市歯科医師会「新しい事業」について熊本市と委託契約締結     |         | 5  |
| 二つの臨時委員会 新しく設置                    |         | 6  |
| 委 員 会 紹 介                         |         |    |
| 社 保 委 員 会                         |         | 7  |
| 口腔衛生委員会                           |         | 10 |
| 第15回バレーボール大会開催される                 |         | 13 |
| 平成3年度市民病院との懇談会について                | 菅 原 洋   | 20 |
| 第12回熊本市学校保健総会開催される                |         | 22 |
| スタディーグループを追って                     |         |    |
| KOG(Kumamoto Oral Research Group) |         | 23 |
| 熊本歯科三水会                           |         | 25 |
| 勉 強 部 屋                           |         |    |
| メンテナンスを考える                        | 有 吉 洋   | 28 |
| 本 日 休 診                           |         |    |
| 第2回ウルトラマラソン別府・熊本140km             |         |    |
| ギブアップ類末記                          | 奥 田 良 樹 | 31 |
| 新入会員紹介                            |         | 34 |
| 会 務 報 告                           |         | 35 |
| 編 集 後 記                           |         |    |

# 盛大に開催された歯の衛生週間

## 第40回 「母と子のよい歯のコンクール」



熊本市と熊本市歯科医師会主催の表彰会場

平成3年5月18日（土）、熊本市と熊本市歯科医師会主催の「母と子のよい歯のコンクール」が県歯科医師会館3Fホールにて開催されました。

熊本市内の各保健所と保健センターにて実施されている3歳児検診を受けた幼児と母親を対象として、当日は選ばれた20組の母子がコンクールに参加しました。

審査は、熊本市歯科医師会・口腔衛生委員（岡本、与儀、原田、斎藤）が行い、審査基準に従い、歯牙、歯列、咬合、歯肉、歯口清掃の状態をくわしく審査しました。

表彰式は、橋本和朋・熊本市保健衛生局衛生部長の挨拶にはじまり、つづいて中根熊本市歯科医師会会長の「口腔衛生思想のさらなる普及と、自分の歯で噛むことのすばらしさ」を主とした挨拶があり、最後に審査講評を岡本委員長が行い、コンクールは終了しました。

優秀賞には、清水町の佐伯由里子さん・由加ちゃん親子と、長嶺町の神山宣子さん・夏美ちゃん親子の2組が選ばれ、6月9日（日）に開

かれる県大会に熊本市代表として出場することになりました。



審査の手にも熱が入る審査会場



優秀賞に選ばれた佐伯由理子、由加親子（左）  
神山 宣子、真美親子（右）

（口腔衛生委員 寺本豊徳）

# 口腔衛生の啓発運動に大きな役割り

## —全国各地での歯の衛生週間イベント



6月10日（日）の歯の祭典に子供たちの目をひとりじめした学院の生徒による寸劇



自分の作品子供の作品をさがすポスター会場

今年も例年通り、6月4日（火）より6月10日（日）の一週間にわたり国民の口腔衛生の啓蒙目的とした行事やイベントが各地で行われた。

わたしたちの熊本でも口腔検診や歯科保健指導、おやつを試食会が催され大勢の県民、市民を集めてその目的をなしとげた。特に、最終日の6月9日、10日に開催された「歯の祭典」には、会場に溢れる程の人々を集めて、歯への関心への高さを示すことになった。その「歯の祭典」では「母と子のよい歯のコンクール」の最終選考会の表彰式、また衛生士学院生徒による

むし歯予防をテーマにした寸劇が観衆の爆笑をまき起こした。またポスターや習字の入選発表があり、小さな子供たちの歯に対する思いがわかるような絵に、改めて歯科の治療の子供の心にしめる大きさをつくづく感じさせられた。

このように恒例となって、目新しいなくなった歯の衛生週間のイベントではあるが、私たち歯科医師が社会の人々に歯の大切さをアピールし、社会的立場を明確にする絶好の時期であることには変わらないことを肝に銘ずるべきである。



大人顔負けの作品が並ぶポスター

（広報 永野 忠）

# いよいよ始動!!

## 在宅寝たきり者歯科診療

### その歯科往診治療の現状から

講演会 Part II



観血処置はさけ、抜歯などは病院に入院させて行うべきと講演される鈴木俊夫先生

○講師 鈴木俊夫先生  
(名古屋市守山歯科医師会公衆衛生担当理事)

○講師 嶋田みな子先生  
(熊本市医療短期大学教授)

療を受けるチャンスがなかったが今回の事業は在宅寝たきり者にとって大きな福音であろう」と挨拶された。引きつづき熊本市歯科医師会中根俊吾会長が「寝たきり者歯科診療を推進するにあたってクリアすべきいろいろな問題点がありましたが、会員の皆様の寝たきり者への真摯な診療態度とその上に積み上げられた実績が今回の事業への熊本市の援助が頂けた最大の理由であり、寝たきり者の方々にとって救いになると確信している」と挨拶された。

平成3年6月15日(土)午後2時30分より熊本県歯科医師会館3Fにおいて、名古屋市開業の鈴木俊夫先生と、熊本市医療短期大学教授の嶋田みな子先生をお招きし、平成3年7月1日より熊本市で実施される「在宅寝たきり者歯科診療」についてご講演をいただいた。

当日は熊本市より保健衛生局衛生部長の橋本和朋氏をはじめ他6名の来賓と協力歯科医ならびにパラデンタルスタッフ約100名の参加を得、開会された。

まず講演に先立ち橋本衛生部長が「我が国では急速な高齢化が進んでおり、高齢者の歯科保険の重要性が増している。熊本市も例外ではなく、約600以上が寝たきり状態にあり、歯科治療を希望しているにもかかわらず、今まで歯科治



寝たきり者歯科医療の講演に集まった100名のデンタルスタッフ

鈴木俊夫先生の講演の要旨は下記の通りである。

- ・在宅寝たきり者訪問歯科診療の場合、観血処置麻酔を使った処置は非常に危険が伴うためなるべく行わない。

- ・どうしても抜歯等の処置が必要な場合はしかるべき内科に入院させ慎重な対応が要求される。
- ・往診の時間を知らせておき、診療前には必ず歯を磨き義歯安定剤等を除去して義歯の清掃を介護者に前もって行ってもらおう。
- ・特定疾患の患者さん（頸椎 ope を予定している患者リウマチ）はなるべく早期に歯科治療を済ませておく。
- ・1年に最低2回の検診が必要であり介護者に口腔清掃の重要性を周知徹底しておく。
- ・寝たきり者訪問歯科診療時にはなるべく自宅にあるものを利用して費用の負担が少なくすることを心がける。（洗面器、タオル、懐中電灯、ガーゼ）
- ・軟膏等を処方する時は、皮膚科の薬と間違わないよう家族に充分説明しておく。

嶋田みな子先生は寝たきり者、介護の基本について簡単なデモを交じえ講演されたがその要旨は以下のとおりである。

- ・介護者として明るく元気に対応し、相手の目をみて話をする。質問はできるだけ少なくして自由に話してもらうようにする。その中でどういう要望かを聞きだす。また敬語を使い、相手を尊重する。
- ・訪問診療での看護は70%ぐらいの看護をめざし理想を押しつけない。患者の疲労をできるだけ少し必要な時に必要な事を最小限に指導するのが原則である。
- ・看護する時は医師との関係を保ち相談しながら訪問していく。

## 口腔ケア一実施時の留意点

1. 口腔内を良く観察し歯肉の出血や変色を調べ、もし出血していたら綿棒でマッサージをする。
2. 必ず消毒済みのものを使用し、手洗いをきちんとする。
3. 口腔粘膜や歯牙を傷つけないようにする。
4. 患者の横に立って耳もとで話し、手際良く静かに処置を行ない患者の心理的、肉体的な消耗を避ける。
5. 食後お茶を多めに飲ませ、口腔内の食物残渣を少なくしてやり、誤飲を防止する。
6. 喀痰の貯留はガーゼで素早く拭きとる。
7. うがいの出来る患者はできるだけ回数を多くさせ含漱後は口角から吐かせる。
8. うがいの出来ない患者は、水歯磨き（液状）をコップに2～3滴入れ水を加え、その中に綿球を5～6個入れそれで口腔前庭を丁寧に拭く。
9. 手が動く患者は手の運動を兼ねて用意だけして自分自身で磨いてもらう。
10. 患者に肩をもたせ背中を保護しながら、ゆっくり起こし背中にタオルをしいておく。
11. 脈は必ず3本の指で測定し、数と大きさ、リズム緊張度が日頃とどう違うかを見る。



展示されたポータブルのタービンとモーター

（学術委員 添島正和）

## 協力医112名を集めて実施方法説明会

6月27日(木)PM7:30より、安田フォーラムに於いて協力歯科医師112名を集めて「在宅寝たきり者歯科検診及び診療」の開始にあたっての説明会が開かれました。先ず、関剛一専務理事から実施要綱の解説があり、「在宅寝たきり者歯科検診依頼書、検診結果報告書、診療実施報告書」などの記載方法そして往診車及び歯科診療関係機械、器材などの説明がなされました。続いて社保委員会の津田勝久委員長から、寝たきり患者訪問診療に関する社会保険請求上の要領及び留意点など、症例をあげての説明が行われました。



紹介される二人の専属衛生士

## 熊本市歯科医師会「熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業」について 熊本市と委託契約締結

6月29日(土)PM3:00より熊本市歯科医師会会議室において「熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業」についての委託契約が、熊本市歯科医師会と熊本市との間に結ばれました。歯科医師会からは中根会長、鈴木副会長、関専務理事、杉野常務理事、熊本市からは衛生総務課上級参事大本氏、課長補佐国本氏、係長石本氏、主事村中氏、加治屋氏、また衛生士会より本田志保子氏、杉本久美子氏、機材納入を行う内田サンエス歯科機材の方々も臨席されました。契約に先立ち関専務理事と市役所職員の立会いのもと歯科機材備品の納入確認が行われ、続いて中根会長により熊本市との間に備品貸与契約と「熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業」についての委託契約の調印がなされさらに歯科検診車の受け渡しが行われこの日の予定を無事終了しました。

7月1日(月)「在宅寝たきり者歯科診療」の開始が、新聞、テレビなどの各報道機関により広く報道されました。第1回目として、健軍の小田和人先生の訪問診療の様子がテレビ放映されました。

初めての試みであり、まだ手探りの状態と思われませんが、今後の活動を大いに期待したいものです。



熊本市から受け渡された歯科検診車



## 二つの臨時委員会

## 新しく設置

### 訪問歯科診療実施委員会



関 専務理事

委員会を設置した。

行政ではそれと平行して「熊本市民在宅寝たきり者歯科保健状況調査報告書」を昨年6月にまとめ在宅寝たきり老人の歯科医療の必要性を実感し、本会と協力して訪問歯科保健推進事業を実施すべく基礎作りを行ったのである。今年度も同様、同委員会を設置し、実施時期を7月

500名とも600名ともいわれる熊本市の在宅寝たきり者に対しての歯科検診、診療をという目的で前年度、本会では成人歯科保健の一貫として上記

とし熊本市の委託事業としての予算、実施要綱、機械機材選択等を行政と数回にわたり検討会を行った。又本委員会では協力医の登録、衛生士会、保健所、保健センターとの検討会又講演会、研修会を数回行い、懸案であった本事業を7月1日に実施のはこびとなったのである。しかしパイロット事業としての本事業も難題が多数残っており、今後実施しながら本委員会で検討し、次年度にはもっとすっきりした型の事業にしたいと考えている。

協力医の先生方には何卒、本事業を御理解の上御協力の程お願い申し上げます。

### 臨時定款委員会



菅原常務理事

定款見直しの必要性を認め、臨時委員会を設置した。骨子としては、1) 会員の件、2) 会議の件、3) 共済会規定の件、4) その他の4つに分類をしたが、

- 1) 会員においては、会員分類と資格、入会の件では、入会金の問題を検討
- 2) 会議では、代議員会の定款問題、支部長会(支部会)では支部構成、役割会計及び財産

本会の定款については、ここ数年来、2、3の部分的な改正を行ってきましたが、今回日歯、県歯の大幅な定款見直しにともない、本会も全般的な

では、21世紀へ向けても管理、運用についての見直し

- 3) 共済規定では、先輩会員も若年会員も平等に恩恵をうけられるような、福祉、扶助の充実をはかる。

まだ委員会は開催されてはいませんが、会員が平等に楽しい歯科医師会活動が出来るような定款の見直しをしていきたいと思っております。会員の皆様のご意見、ご指導をよろしくお願い致します。

なお委員は

関剛一、杉野陽二郎、柿原訓と私菅原洋の4人です。



社

保

## 委員会紹介

口腔衛生

### 質問事項

- ①開業場所、開業年数。
- ②家族紹介。
- ③最近身近かに感じたり、感動したこと。
- ④委員会に入り一言。
- ⑤歯科医師会に期待すること。
- ⑥趣味及び自分のストレス解消法。

### 社保委員会



### 体力の低下を感じる頃



津田勝久委員長

①花畑町12-28、日本生命  
第2ビル5F13年（勤務）

②妻 寿子

長女 裕子

次女 聖子

長男 礼彰

たくなる)

④2期目に入り仕事も少し慣れてきたが、まだまだ皆様の役にたつまでにはほど遠い。頑張りますので御意見を委員会へください。

⑤会員が憩える喫茶室を作してほしい。

⑥ゴルフ、テニス、庭いじり、ストレス解消法はなにもしないでただただ眠る。

③体力の低下、(テレビを見ていると午前1時2時でも平気だったのが、最近11時頃になると眠

## 父親の姿を身近に感じる



稲葉逸郎副委員長

①花園1丁目20-53、10年  
(開業年数)

②妻 美智代

長女 有希恵(小5)

次女 容子(小2)

③四十才になり開業10年をむかえ、これからは、以前とは又違った考え方が出来る様になりたいと思っています。自分の父親の姿が、何となく最近身近に感じる様になり、以前より少し好きになりました。

④社保委員会二期目になり、やっと落ち着いてきました。会員全体のレベルアップの為微力ながらがんばりたいと思います。

⑤会員が自由に又身近に交流できる歯科医師会であって欲しいと思います。

⑥ストレスの解消法は、休日のゴルフです。運動というより心のリフレッシュのゴルフを楽しみたいと思います。

## 歯科医師のむずかしさは患者の心をつかむこと



三苦 司委員

①熊本市京町6-32(自宅)  
熊本市池田1丁目14-17  
(診療所)

12年(開業年数)

②妻 千波(38才)

長男 貴司(12才)

③約半年位前に「クイズ早くいってよ!」というテレビ番組で、歯科医(25、26才位)が3人出て、司会の関根勤が「歯の病気で何がいちばんむずかしいですか?」と質問した時、その3人が「歯を抜くことでも削ることでもなく、患者の心をつかむことです。」と答えたこと!

④ありきたりだが、全会員の為に、個人個人はもちろんのこと、歯科医師会がもっともっと向

上する様にがんばりたい。

⑤・日本歯科医師会へ点数改正のときもっと点数が上がる様にがんばって下さい。

・熊本市歯科医師会へたとえば長嶋茂雄とか熊本市長とか、いろいろ業界の人の講演会を開いてほしい。(有名人)

⑥ゴルフ(2~3m以上のパットが入った時) マージャン(一発でツモった時) 酒(なんにも考えずに飲んでいる時)

## 運動不足を感じる



松本光示委員

①市内出水5丁目704-3  
開業年数 4年

②妻 まさ子

③最近ゴルフをやって終わり近くになると時々足がつるようになりました。

足腰が弱ってきてるのか、日頃の運動不足を感じてます。やっぱり毎日歩いて4、5分の距離を自転車通勤するようじゃ運動不足も解消できませんネ。

④微力ながら皆さんのお役に立つように努力しますので、よろしくお願いします。

⑤市の会館が欲しい

⑥ゴルフと最近買った天体望遠鏡で星と月を見ること。

## 障害の女性の番組に感銘をうける



有田俊昭委員

①熊本市田迎町良町春の  
田186-3 TEL 379-0220、  
開業5年

②妻 久子

長女 佳代

(幼稚園4才)

次女 圭織(1才)

③テレビのニュース番組で、両手、左足に障害のある若い女性が、何の屈託もなく、明るく1人で生活している姿を見て、非常に感動し、自分も2人の娘の親として、両親の真の愛情に感銘を受けました。

④この度、2期目の社保委員を仰せつかり、光栄に思っています。1期目は、自分の社保に関する知識のなさを、考えさせられる3年間でした。今期は少しでも、理事の仕事の手助けが、出来ればと思っております。

⑤個性の強い会員をまとめていくのは、大変かと思いますが、1人でも多くの先生が「会に参加しよう」と思うような、魅力ある歯科医師会に期待いたします。

⑥オートキャンプ

スキー、ドライブ。

四駆にて、野山を駆け回り、木陰での炭焼きバーベキューを肴に、ビール一杯が最高のストレス解消です。

## まさかの交通事故にあう



鬼塚友文委員

①熊本市春日3丁目（熊本駅裏）9年目

②妻 昌子

長女 <sup>マリ</sup> 亜李 7才

次女 <sup>ナオ</sup> 那々 5才

長男 <sup>ケンシ</sup> 研志 1才

犬 ペコ 1才

③まさかの交通事故。自分は大丈夫と自負している所があったのかもしれませんが。大事に至らなくて不幸中の幸い、良い勉強になったと感じている今日このごろです。気を付けよう子供の飛び出し！

④初めて社保委員会に委嘱され不安であります。が、会員の皆様に少しでも役立つような勉強していきたいと思っております。

⑤会員のより良い環境作り

⑥アウトドアスポーツ

## スポット 通信

### 委託事業実施の第一号テレビで放送

7月1日よりこの推進事業が実施されることになりましたが、当日花立で開業されている小田和人先生が寝たきり老人の治療に出かけられています。このことがさっそく7月1日にテレビで報道されています。

以下小田先生に尋ねました。

患者さんは半身不随で車いすを使っておられる方で、主訴は左の方が咬めないとしみることでした。口腔内を診査すると知覚過敏症と歯周疾患が原因でした。現在知覚過敏処置と口腔衛生指導の処置を行っています。他にも per や caries があり、感染根管処置や R F でそれに対処しています。

当日は自分の病院の衛生士と市歯会の2人の衛生士の4人で治療を行いました。なかなか通常の治療姿勢と違うので、慣れずに大変苦勞しました。



## 口腔衛生委員会



### 航空史研究会に入り、航空機写真に没頭



岡本 寛委員長

①熊本市神水2丁目16-5、開業12年目

②寛 42才

啓子 41才 歯科医師

真理子 長女

錦ヶ丘中2年

昌裕 長男 尾ノ上小2年

③連日、長崎雲仙普賢岳の火山情報が、テレビや新聞等で報道されているが、被災地の歯科医師は、どのようにされているのか心境察するに余りあるものがあります。

④口腔衛生委員会の活動は、最も一般市民及び行政の人々と接する機会が多く、諸先輩が対外的に進めてこられた行事を、内容的に少しでも前向きに取り組み、その意義等をもう一度噛みしめながら、今期3年間全員で対処したいと思う。

⑤なるべく会員の意見が、反映されるようお願い致します。

⑥日本航空史研究会に入会してまして、口腔内写真が、いつの間にか航空機写真に変わってしまい、珍しい飛行機が飛来するという仲間からの情報が入ると、仕事を置いて出かけます。

### 歯医者者の苦しい環境を痛感



与儀実彦副委員長

①熊本市帯山4丁目19-19、開業6年目

②妻：直美（27才）

長男：宗徳（4才）

長女：真由佳（1才）

③歯医者者というものは、何年たっても楽にならない業種であると感じております。

④委員になるのは初めてなので、ただ一生懸命やるだけです。

⑤保険点数を上げる様、厚生省に強く働きかけて欲しい。

⑥ゴルフに行って仲間同志で騒ぐ事。

### 多くの責任を毎日感じる



岩村公一委員

①熊本市長嶺町2608番地、平成3年4月

②妻：祐子

長男：亮一（6才）

長女：裕美（4才）

③今年4月に開業し、毎日感動とストレスの中で過ごしております。

患者様への、従業員の、そして家族への責任を果すため、全力をもって奮闘努力しております。

④微力ながら歯科医師会活動のお手伝いと思い、委員会に入らせていただきました。いたらぬ点が多かろうと思いますが、宜しくお願いします。

⑤建前はともかく、歯科医師会の本質的な部分、同業者組合として会員の利益を守ることにあると思われます。この点に関して社保、税務、労務などを強化していただければありがたいのですが……。

⑥無趣味で困っております。ストレスが溜ましても、ほっておくと自然となくなってしまうタイプです。

### 委員会の重要性を感じて！



笹原慎一郎委員

①熊本市高平3丁目13-26、

シミズ歯科医院

②5年

③妻 千草

長男 充博（4才）

次男 慶貴（2才）

④趣味水泳、自転車、ランニング

本年4月より、口腔衛生の委員として、務めさせていただくことになりました。既に母と子のよい歯のコンクールや、3歳児歯科検診などの活動を経験して、改めて歯科予防に対する関心の高さを知り、この委員会の重要性を感じております。矢毛石理事のもとで、まだまだ勉強不足ではありますが、口腔衛生の発展のために、少しでもお役に立てるように頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

⑤在宅寝たきり者医療は困難な事業なので慎重に進めて欲しい。そして若い先生達が多くなったので親睦の場を多く提供して欲しい。

### 3年に味わう税金の重さ



寺本豊徳委員

①熊本市戸島町3260～14、  
2年

②妻 貴子

長女：智美

幼稚園年長、5歳

次女：未樹 2歳

③開業3年目に入り、仕事も少し落ちついて来ましたが、これからも健康第一にマイペースでやりたいと思っています。最近、驚いたことは、3年めにして初めて味わう税金の重さです。

④⑤歯科医師会内部の仕事を微力ながら自分のできる範囲でやっていきたいと思っています。

⑥休日の家族旅行

まわりの人の勧めで、ゴルフを少し始めたいと思います。

### 医科ともっと親密さを



斉藤忠継委員

①熊本市中央街3-3 斉藤  
病院内1年2ヶ月

②独身

③先日来院された若い女性  
の患者さんのあまりの  
奇麗さに、しばし感動して

治療の手がとまって、みとれてしまいました。つくづく自分は男だなと感じ、反省してしまいました。

④開業して一年余りしか経ってませんので、まだまだ分からない事ばかりです。他の委員会の先生方には、御迷惑をかける事がしばしば有ると思いますが、よく御指導を受け微力ながら、公衆衛生活動のますますの発展に頑張りたいと思います。

⑤此の度、歯科医師会では、寝たきり老人の在宅訪問診療を実施する運びとなり、全国的に見

でも大変画期的な事で、非常に誇らしく思っています。寝たきりの老人ともなると、他の全身的な慢性疾患を多数併発している方がほとんどだと思われ、また一般の方においても、複雑な現代社会がもたらす影響で同様な事が言えると思われます。そういう方々の歯科治療を行なう我々としては頭の痛い事がますます増えてくる事でしょう。そこで歯科医師会に期待したいのは、歯科医師と医師とのもっと親密なコミュニケーションということです。口腔内も全身の一部なわけですから、歯科との交流をもっと深めて、医療界という立場での歯科医師活動の発展を望みます。

⑥趣味はスポーツ、特にゴルフとスキーは何よりも好きです。ゴルフ場でティーショットを思いきり飛ばすのがストレス解消になってます。

⑥月に1～2回のゴルフ

口腔内の細かな仕事をする私にはゴルフ場は広々とした美しい風景、目の覚めるような緑はストレス解消に一番です。

### 笑顔とおもいやりのある職場にしたい!



原田教二委員

①熊本市渡鹿6丁目8-26

D'プレヴェイル1F、

8ヶ月

②妻：敏恵

長女：奈央

長男：健太郎

③開業して8ヶ月が過ぎましたが、患者数及び経営はまだまだ不安定な状態であります。さらにスタッフとの信頼関係、能力向上の指導のテーマをかかえています、笑顔がありおもいやりのある仕事場にしたいと思っています。

④口腔衛生委員会に入りましたが、どのような分野で活動をするのか具体的な事も知らずに矢毛石先生の指導のもとで勉強する事になりました。委員会を通じ微力でも委員会に貢献できればと思っております。又多くの先生方や他の人々との交流が得られれば幸いです。

## 第15回

# バレーボール大会開催される

## “中央A” 3年連続制覇

7月28日恒例の市歯科医師会支部対抗バレーボール大会が例年より1ヵ月遅く県立体育館の大体育館において開催されました。

中根会長の挨拶に始まり、前年優勝の中央Aより優勝トロフィーの返還、厚生委員西口よりルール説明、次いで組み合わせ抽選を行ない、中央B斉藤忠継先生による力強い選手宣誓の後、9時40分よりさっそく試合が開始されました。

今年は開催場所が変更になりコート数が4面から3面へ減

った為に、昨年までの午前中の予選リーグを廃止し、昨年上位4チームをシードしてのトーナメント方式へ形式を変えて行なわれました。そのせいか1回戦4試合は力が拮抗してどの試合も接戦でした。2回戦からシード4チームが顔を揃えましたがさすがにシードチームは強く、全てがストレート勝ちして順当に3回戦へ駒を進めました。3回戦でも昨年優勝の中央Aは圧勝、今年こそ優勝をと燃える万年2位の北部2は苦しんで苦しんで逆転して決勝へ勝ちあがりました。結局決勝戦は昨年と同じ対戦となり、1セットは中央Aがとり2セットは北部2が終

盤までリードしていましたが、地力にまさる中央Aが追いつきジュースにもちこんでこのセットもとリストレート勝ちを果たし13回大会から3連覇を果たしました。



県立体育館に会場を移して、涼しい館内での第15回バレーボール試合風景

今大会はクーラーが館内に効いていたせいか選手の消耗が少なく、大きな事故もなかったように思います。決勝戦が14時50分に終了し、ひきつづき表彰式、関専務理事による閉会の辞にて無事今年の大会も幕を閉じました。

終わりに各支部の

支部長先生、協力員の先生には心よりお礼申し上げます。

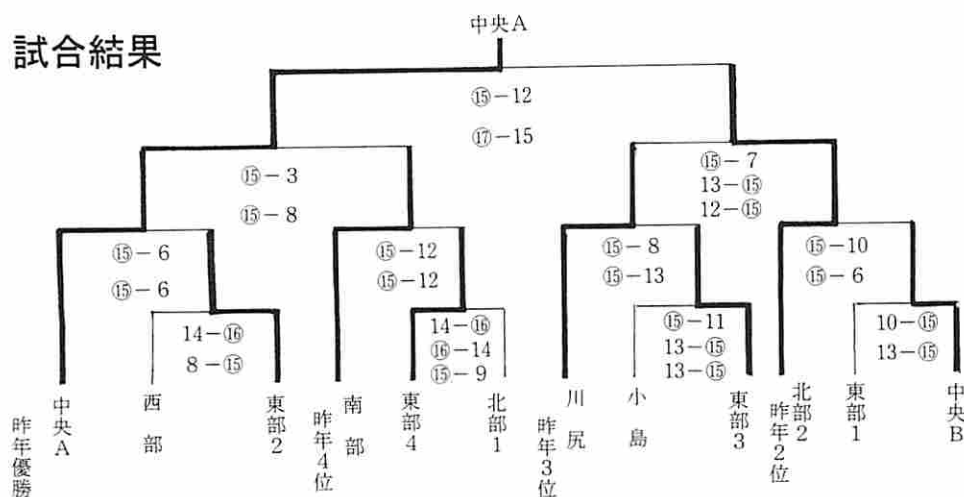
(厚生委員 西口和弘)



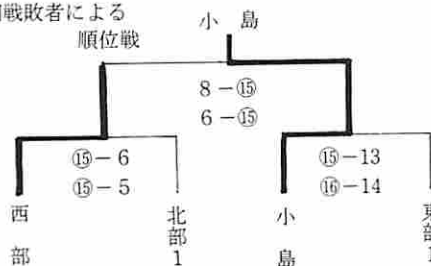
3連覇をなし、優勝トロフィーを受けとる中央Aの斉藤先生



# 試合結果



1回戦敗者による  
順位戦



2回戦敗者による順位戦



15回大会順位

|       |         |
|-------|---------|
| 優勝    | 中央A     |
| 2位    | 北部2     |
| 3位タイ  | 南部、川尻   |
| 5位タイ  | 東部2 東部3 |
| 7位タイ  | 東部4 中央B |
| 9位    | 小島      |
| 10位   | 西部      |
| 11位タイ | 北部1、東部1 |

## 。試合から1コマ



開会式での緊張した選手たち



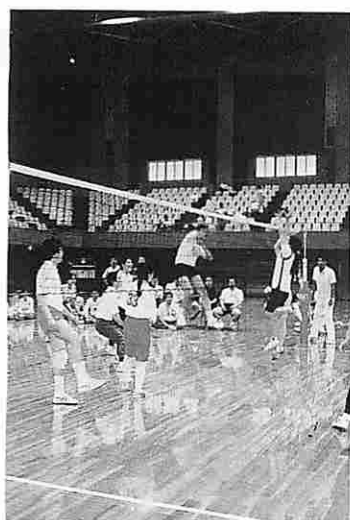
ボール1点に集まる目と目



おっとボールはどこ



サアー頑張って！



優勝戦で決まるかスパイク



ネット際の魔術師



戦い終わって、和気あいあい

## 各支部の顔

中央A



3年連続優勝、黄金期はまだまた続くか

北部Ⅱ



準優勝、だがチームワークは抜群

南部（3位タイ）



多くの負傷者をかかえながらの三位は見事

川尻（3位タイ）



写真うつりはNo.1なのですが？

東部Ⅱ（5位タイ）



高齢に勝つことができず全盛期の力を失う

東部Ⅲ



明るさでは他のチームに負けません

東部Ⅳ（7位タイ）



昔の栄光はどこに忘れたのでしょうか

中央B（7位タイ）



私たちは応援に来たのではありませんよ

小島（9位）



参加することに意義があります

西部（10位）



年齢ではどこにも負けません

北部Ⅰ（11位タイ）



田中先生御苦労様でした

東部Ⅰ（11位タイ）



来年はユニフォームを揃えます？

## 15周年記念大会に優勝して

熊本市歯科医師会バレーボール15周年記念大会、まことに目出度うございます。一口に15年といっても厚生委員の先生方におかれましては、苦勞の多い15年だったのではとお察し申し上げます。

さて本年も中央支部Aが優勝しましたが、これはひとえに中央支部Aのチームワークの良さの勝利であります。中央支部は5年前から元島先生を中心に強力なチームを造ってきましたが、

その伝統が今のチームにも受けつがれての大会3連覇だと思います。この伝統を築いてこられた中央支部の先生方に心から感謝申し上げます。そして今年参加された先生方、スタッフの皆様本当にお疲れさまでした。来年もどうか宜しくお願い致します。最後に、残念ながら本年も2位に甘んじた北部Ⅱにエールを送っておしまいとします。

中央支部支部長 斉藤 朗

## 15周年記念大会に参加して

まずはケガ故障がなく無事にバレーボール大会が終了しホットしています。

大会に臨み2回の練習をしましたが、日頃の運動不足を考えるとどうなる事やら…。

試合内容は攻撃パターンのレシーブ・トスまでは他のチームと比較しても見劣りしなかったのですが最後のアタックがいまいち。勝てそうな場面、流れもあったのですが、東部Ⅰの人の好きと練習不足が災いして惜しくも逆転されたり、ジュースにもつれこんだりして結果は2

戦0勝2敗と最下位に甘んじる散々たるものとなりました。

しかし、結果はともかく参加する事に意義がある。さわやかな汗を流し久しぶりにスポーツのおもしろさを感じました。

県立体育館は、クーラーを設備しフロアも大変きれいで驚かされました。

最後にこの様な場所を設定し、大会準備をされた関係者の皆様、ご苦勞様でした。

東部第1支部 原田 教二

### —。大会会場からスナップ —



行く先はボールに聞いて



影の応援団（二階より）

# バレーボール大会15回記念

## 懇親会開催される



センターホテルで180名の参加者を集めて親睦の輪を広げた懇親会会場



特別表彰者を代表して謝辞を述べられる岩本義人先生

7月28日試合終了後、場所をセンターホテル宴会場へ移し、180余名の参加でバレーボール大会15回記念懇親会が開催されました。

厚生委員柿原先生の司会により定刻より15分程遅れ18時15分より開会されました。まず中根会長が挨拶され“継続は力なり”15年の長きに渡り続いたバレーボール大会を感慨深げに話されました。続いて来賓として国保組合常務理事椿幸雄先生より祝辞をいただき、次いでバレーボール大会に尽力をいただいた先生を各支部より1名ずつ表彰し、表彰者を代表して岩本義人先生が謝辞を述べられました。続いて関専務理事の乾杯の発声により宴が始まりました。

各支部ごとに大会の労をねぎらい、汗をかいたあとの喉をビールでうるおし、体の疲れを忘れてはなしが弾み親睦の輪が広がってゆきました。20時になり鈴木副会長より閉会の辞がありお開きとなりました。なお特別賞の表彰を受けた先生は次表の如くです。

### 特別賞表彰者氏名

|       |     |     |
|-------|-----|-----|
| 中央    | 菅 原 | 洋   |
|       | 斉 藤 | 朗   |
| 北部1   | 田 中 | 宏   |
| 北部2、3 | 岩 本 | 義 人 |
| 東部1   | 藤 波 | 剛   |
| 東部2   | 上 原 | 凡 由 |
| 東部3   | 合 沢 | 康 生 |
| 東部4   | 干 場 | 敏 昭 |
| 南部    | 谷 川 | 貞 男 |
| 西部    | 住 本 | 和 隆 |
| 小島    | 奈 良 | 健 一 |
| 川知    | 井 尾 | 治 雄 |

(厚生委員 西 口 和 弘)



平成3年度

# 市民病院との懇談会について

常務理事 菅 原 洋



市民病院

さる6月11日、市民病院より志摩病院長、川口歯科医長、岩田先生、本会より中根会長、鈴木副会長、関専務、杉野常務と私が出席し平成3年度の懇談会が開催され、席上、中根会長より日頃のお礼と7月1日より実施される熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業のご理解と、二次的病院へのご協力の要請がなされ、これをうけて、志摩病院長より「4月に病院長に就任し、多忙な為歯科の知識には乏しいが川口先生より、歯科のノウハウを吸収して、病院歯科に取りくみたい」と述べられ、又「在宅寝たきり者歯科の問題は、行政側より申し出があり、病院をあげて協力したい」との返事をいただいた。なお川口先生より、病院歯科としての提言、現況報告、今後の展望のご意見をいただいたので掲載いたしますので、ご一読いただきますようお願いいたします。

## 1. 市歯科医師会会員と本院全体との連携

- 1) 歯科診療中の緊急時（ショック、基礎疾患発症など）、本院への搬入、全身的管理、治療（とくに東部地域の先生方と、本院麻

酔科、循環器科、呼吸器科などとの関連）

- 2) 必要に応じてCT、FCR、MRI、RIなど（将来設置の予定も含めて）高度診断器の積極的利用、活用（中央放射線部との関連）

- 3) 粘膜疾患、のう胞性疾患、腫瘍性疾患などの病理組織学的診断の利用（臨床病理室との関連）

- 4) HB抗原陽性、出血傾向などの疑いある患者の検査利用（中央検査部との関連）

## 2. 市歯科医師会会員と、主として歯科および関連各科との連携

- 1) 心身障害児（者）歯科治療の受け入れ（主に全身麻酔下歯科治療を要する患者）

- 2) 老人歯科治療の受け入れ

とくに寝たきりについては、本市、市歯科医師会の新規事業として訪問歯科検診が7月1日より開始される。その中で在宅治療が困難で治療が必要な患者については充分な全身管理が行える設備と人員を要する病院歯科へ搬送し、短期間の入院の上治療することも必要。本院はその二次医療機関として対応。

- 3) 後出血等、会員の先生方よりの依頼による救急歯科治療の受け入れ（とくに東部地域）

- 4) 有病者歯科治療

とくにcompromised patient、観血的治療の困難な患者の受け入れ（非観血的治療の段階で会員の先生方に御依頼）

- 5) 口腔外科的疾患や上記以外の患者はできるだけ患者の居住する近くの歯科医院を紹介



## 介するルート

### \*現状として

◇新来患者（平成2年1月～12月）1332名

○会員の先生方よりの紹介 142名（10.7%）

|            |     |
|------------|-----|
| 内訳・埋伏歯抜歯   | 43名 |
| ・顎関節症      | 25名 |
| ・障害児       | 12名 |
| ・非協力児（低年齢） | 10名 |
| ・歯科恐怖症     | 7名  |
| ・寝たきり老人    | 6名  |
| ・B型肝炎の疑い   | 5名  |
| ・その他       | 34名 |

○医科の先生方よりの紹介 85名（6.4%）

顎関節症、障害児、有病者

○院内他科よりの紹介 279名（20.9%）

計：何らかの紹介、依頼 506名（38.0%）

◇当科より会員の先生方への紹介、依頼  
84名（6.3%）

### 3. 本院歯科としては

将来的に（発展的に）現在は標榜できないが内容的に口腔外科、口腔内科、障害児（者）歯科、老人歯科、有病者歯科を中心とした診療内容の充実を図っていききたい。これは未だ熊本県においては充分ではないといえるし、会員の先生方と競合することなく、市民、県民の医療ニーズに応えるものといえる。

## 具体的には

- ・心身障害児（者）歯科医療（とくに中等症～重症）
- ・有病児（者）歯科医療（血友病、白血病、慢性腎炎、肝疾患、心疾患、リウマチなどの患者への歯科医療）
- ・顎関節疾患、心身歯科医学、交通外傷による骨折さらには熊本県で現在欠けている分野の一つである口腔癌へも対応できる口腔外科的疾患に対する医療
- ・老人歯科医療のなかで入院を要したり観血的処置を要する部分を担当する医療
- ・会員の先生方よりの二次的な救急歯科医療
- ・生涯研修の部分で、病院全体での歯科医師の研修

特に卒業後間もない若い歯科医師の全身的疾患への理解や隣接領域的疾患への見方に加え、有病者、その他への歯科医療の研修を担う。

こういうことが、本院歯科の進むべき道ではないかと考えています。

第12回

# 熊本市学校保健総会開催される

## 表彰

学校保健功労者として本会員の5人

天 村 美 堯 先生  
五 島 保 則 先生  
関 剛 一 先生  
堤 直 文 先生  
堀 川 秀 一 先生



学校保健功労者として表彰をされた4人の先生、堀川夫人

平成3年6月12日（水）熊本市産業文化会館（7階ホール）に於て熊本市教育委員会、学校保健会主催で第12回熊本市学校保健会総会及び合同研修会が開催されて総会において学校保健功労者として本会会員より天村美堯先生、五島

保則先生、関剛一先生、堤直文先生、堀川秀一先生代理が表彰を受けられました。総会終了後、合同研修会が行われ特別講師として上天草総合病院名誉院長の岡崎禮治先生の「子供のストレスと育児環境」についての講話がありました。

# スタディンググループを追って

## 【1】KOG (Kumamoto Oral Research Group)

### 熊本口腔研究会



発足してから10年目を迎えようとするKOG研究会

#### 会員名簿

|       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 荒木 慈子 | 河野 生司 | 高木 公康 | 徳永 俊英 | 増田 憲敏 |
| 伊東 泰蔵 | 木村 浩幸 | 竹田 博文 | 永井れい子 | 山内 透  |
| 伊東 隆利 | 吉良 裕明 | 立花 泰裕 | 奈良 健一 | 与儀 実彦 |
| 今村多駕子 | 工藤 隆弘 | 田中 弥興 | 成松 賢二 | 尾上 密  |
| 岡田 長久 | 小林 泰子 | 津野田 稔 | 中津留 豊 | 新納 明則 |
| 片山 隆昭 | 斉藤 朗  | 出口浩志郎 | 西野 隆一 |       |
| 川口 辰彦 | 坂口 浩史 | 友枝 和夫 | 藤波 好文 |       |

1. 昭和56年8月4日発足（初代会長 伊東隆利先生、副会長 片山隆昭先生）

2. 伊東隆利先生が、自院の勤務医の勉強会として発足されたもので、次第に外部の方も、ぜひその勉強会に出席させて欲しいとの要望で大きくなっていったものです。

3. 毎月2回、第2、第4火曜

午後7:30~10:00

子飼 伊東歯科医院にて

KOG会長 斉藤 朗

副会長 伊東 泰蔵

監事 奈良 健一

会計 高木 公康

4. KOGの特徴は各自が専門分野の基礎をキ

チッと学び、持っているところにあります。  
外科、補綴、保存、小児、矯正他2～3名から4～5名位。従ってケースプレゼンテーションでも1症例にそれぞれの分野から専門の意見が出ますから非常に勉強になるし、意見の衝突かがあってお互いに参考になります。

## 活動内容

(平成2年)

1月23日

成松先生

- 1) 小児矯正の2例
- 2) 歯牙移植
- 3) 顎関節症Ⅲ型の症例

奈良先生

インレーとクラウンの予後観察

2月27日

増田先生

- 1) コーヌスデンチャーの2例
- 2) フラビーガムの総義歯
- 3) 接着ブリッジの1例

今村先生

- 1) 下顎遊離端に形状記憶インプラントSMIを用いた2例
- 2) 歯根端切除を行なった1例

4月10日

岡田先生

ルートIにおける歯周治療の流れ

出口先生

- 1) 前歯CR充填について
- 2) 顎関節症Ⅲ型2類新鮮例

4月24日

津野田先生

- 1) ビーチアタッチメントとO-ringを使った症例
- 2) ダイコアクラウン
- 3) 印象採得に関して

小林先生

ポーセレンラミネートベニアによる着色歯  
の審美的修復

5月15日

藤枝先生 歯の外傷と処置

伊東(泰)先生

M.T.M.を考える

5月22日

荒木先生

歯周治療の診断と治療・根分岐部病変を中  
心に

竹田先生

I型ペリオの症例

6月12日

高木先生 歯牙移植について

中島先生 舌癌の症例

6月26日

徳永先生 下顎前突(反対咬合)

尾上先生

- 1) 垂直性骨吸収に対しFOPと人工骨を  
応用した症例
- 2) クレペートを使用した2例

7月24日

工藤先生

バイオジャストコンセプトと咬合病顎機能  
障害治療

8月28日

友枝先生 I型ペリオの1症例

9月11日

山内先生 歯根端切除の4症例

9月25日

吉良先生 顎関節症の2例

9月25日

伊東(隆)先生

重度のPerioの1例

10月9日

立花先生

フルマウスの治療にチャレンジした1症例

中津留先生

- 1) コネックスアタッチメント
- 2) P T-スナップアタッチメント
- 3) 他家歯牙移植

10月23日

片山先生

革命的手法で新システムを作る接着補綴の  
臨床

11月27日

与儀先生

義歯の安定と支台歯の負担軽減を主体とし  
たパーシャルデンチャーの設計

稲森先生

- 1) 超音波応用根管充填
- 2) ダイコア
- 3) 扁平紅色苔癬
- 4) 皮下気腫

12月11日(平成2年入会ケースプレゼント)

西村先生

ペリオ治療の途中経過とFOPについての  
考察

新納先生

- 1) 8|アブライトにより Br. 支台とした症例
- 2) 6|ヘミセクションとMTMによる Br. 支台とした症例

その他、抄読会

レントゲンカンファランス 6名(7  
症例)

外部講師を迎えての講演会平成2年

2月14日

林 豊氏(熊本市西保健所)

「1人医療法人」説明会

3月31日

杉原一正先生(鹿児島大学第1口外講師)

「口腔粘膜疾患とエイズ」

4月4日

増原英一郎先生(東京医大理工名誉教授)

「最新歯科事情・これからの歯科医療」

7月10日

竹之下康治先生(九大2口腔外科助教授)

「口腔感染症の処置について」

## 【2】熊本歯科三水会



熊本での最初のスタディグループ三水会

## 会員氏名

|       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 石田 龍佑 | 沢田 宣彦 | 富永 英俊 | 東 克章  | 奥村 敏之 |
| 一ノ瀬英輔 | 杉尾健一郎 | 中西 一夫 | 堀川 義治 | 中山 正純 |
| 伊東 隆利 | 添島 義和 | 中村 社綱 | 堀川 秀一 | 吉永 修  |
| 大関 英明 | 添島 正和 | 永田 省蔵 | 三 苦 司 |       |
| 緒方 義昌 | 津田 勝久 | 林 康博  | 甲斐 文郎 |       |
| 小堀 大介 | 栃原 秀紀 | 西川 庄次 | 山内 渥  |       |

会 長 緒 方 義 昌  
 副会長 一ノ瀬 英 輔  
 役 員 杉 尾 健一郎  
 役 員 中 村 社 綱  
 役 員 東 克 章  
 役 員 栃 原 秀 紀

### 〈三水会の設立〉

熊本歯科三水会の設立は、1963年（昭和38年）のことである。歯科医療管理学の木下隆治先生から、近代歯科医療実践の為の医療管理、特に患者管理の講義を受けることを目的として6人の先生が始められた。その後、納富哲夫先生から約3年間、毎月最新の歯科補綴の理論と実技を教えていただき、勉強会の為の準備として、大関英明先生を代表として、第3水曜日に集まり例会を開くということで始まり、会の名称もそれにちなんで付けられた。以来30年になる。

日本でもまだスタディグループが数少なく、熊本でも最初に出来たグループと聞き及んでいる。

現在、会員数は27人で、専用の例会場もあり、各種会議用器材も完備している。

会員の資格は、補綴と咬合理論の長期コース終了者とし、入会希望者は会員2人の推薦を受け、6ヶ月のオブザーバー期間を経て、その間2～3回のケースプレゼンテーションを行った後、会長、幹事会で入会決定を行うことになっている。

### 〈例会を月に2回、年三回研修会〉

会の現況は、例会を月2回行い、そのうち1回は一般教養と若手の勉強会、2回目は年間テーマによる2～3名のケースプレゼンテーションを行うが、その前に世話人とコメンテーターによる打ち合わせ会も行う。また、年3回の割合でスタッフを含めた研修会も行っている。現在、会員は74歳を筆頭に30歳まで、高、中、若年層と3世代に渡るものになっている。その幅広い年齢層が特色で、そのため、歯科医学の勉強はもとより、社会常識や地方文化を学ぶ場でもある。

発会から30年間にわたる会の方針は、外部に對してことさらアピールするようなことは控え、会員全体の学識向上と技術のレベルアップ、そして平均的なバランスのとれた歯科医師を目標として、相互の和を図ってきた。

会長の任期は、2年間で先輩より順次務め、会長経験者が幹事となって、会の方向づけを行っている。特に最近では、新メンバーの入会により会の活動化が進んでいるところである。

今日まで30年間に渡り、100人以上の外来講師を招聘してきたが、その講師陣は、各歯科大学の著名な教授やスタディグループの会長クラスなど、各専門分野のスペシャリストが多くその内容も、補綴、歯内療法、歯周病、咬合理論、小外科、矯正、心身医学、催眠、医療管理、医療哲学、インプラントなど、幅広く実習も取り

入れてシリーズで会員全体で受けてきた。

又分科会として、MTMから入門した矯正では14年間存続しているものもある。

現在会員のなかには、県外のスタディグループに入会して頑張っている人もいる。会の運営にあたっては、世話役を選出し、中堅がその中枢となり、大御所が御意見番となっている。また若手は、膨大な近代歯科医学を多方面にわたり、吸収する一方、会のなかではその結果の発表を行い、経験豊富な先輩よりアドバイスを受けるというパターンが多いようである。さらに2年1回は、全員参加の合宿をすることにより、会の方向性の決定や反省を行い、会員全体の調

整や、相互の親睦を深めることもしている。最近の例会は、年間のテーマを決定し、それに沿って会員が発表しコメンテーターをおいて討論するという進め方をしている。最近では、審美、歯周病・骨内インプラント・インレーなどへの対応を取り上げてきた。今年は、『咬合支持域の分類による局部義歯へのアプローチ』というテーマで進行中である。年頭にRPDの権威である金子一芳先生に、宮地建夫先生を紹介戴き、アイヒナーの分類によるPDについて会員のケースプレゼンテーションを行い、11月に年間の締めくくりとして金子一芳先生に御講義戴く予定である。

## 《ちょっとBREAK》

### パートI



### 上杉謙信が武田信玄に 塩を送ったというのはウソ

永禄11年(1568)12月、信玄はそれまで機会をうかがって準備をしていた駿河の今川氏領への侵攻を開始した。これによって甲・駿・相の三国同盟は破れ、今川氏真は、義父である北条氏康に救援を求めた。

信玄は氏真を攻めて駿府を占領するが、翌年4月、氏康との薩埴峠(さつた)の合戦に敗れ、いったん甲府へ兵を引いて、六月に再度駿府を占領し、以後、海のある地域を領国化できた。

それまでは、領国が甲・信の山国ばかりであったから、海産物は駿・相や、越後方面からの商品流通ルートによって移入されていたのであるが、信玄の駿河侵攻直前には、氏真によってこのうちの駿河方面からの移入が荷留され、ついで氏康も相模方面から甲州へ入っていた塩荷の輸送を停止するよう命じたのである。

通説によると、この駿・相からの塩留めに同情した上杉謙信が、越後の塩を大量に甲・信地

方へ送り、「敵に塩を送った」美談として有名な話になっている。

甲・越前は、川中島合戦以後の対立状況がまだ続いていた時期であり、当然、謙信も駿・相の塩留めに同調すれば、武田領はまったく塩のルートがなくなり、領民が困るのは目に見えていたところから、こうした話ができたのである。

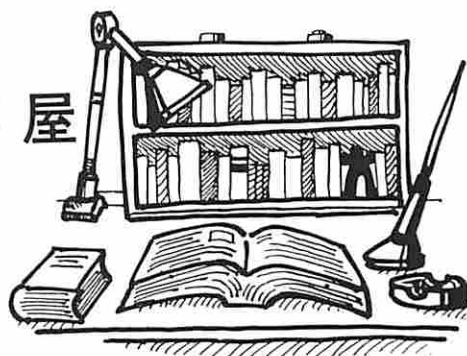
しかし事実はどうかというと、駿・相の塩留めにしても、確かに大名がそれを命じてはいるが、果たして民間ルートがそれによって完全に閉鎖されたかどうかは疑問であるし、駿・相口で塩留め令が出されたことによって、越後口からの信濃への塩の移入量が増加したことは確かであろう。そうした現象をとらえて「敵に塩を送った」美談が作られたのであろうと思われる。

越後口は糸魚川街道(姫街道)であって、古くからの信濃への塩の道として有名であり、甲・越合戦の最中にもそれが完全に停止したことはなかったのである。ただ、深志城下(松本)では、この時の義塩に感謝して現在でも初市を開いているというから、その時、甲・信の領民が喜んだことは事実であろう。

「歴史、常識のウソ300」より



# 勉強部屋



## メンテナンスを考える

有 吉 洋

### はじめに

歯科医療の目的は、歯、歯周組織、咬合、歯列、口腔周囲筋をバランスのとれた状態に回復し、生涯にわたって安定した状態に保たせることである。(筒井昌秀先生テキストより)

健康な歯周組織の条件とは

### 口腔内所見

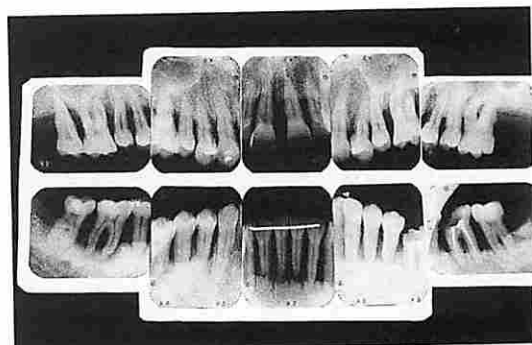
- 1) 歯肉に病的ポケットがない。
- 2) 歯肉からの出血排膿が認められない。
- 3) 歯肉が健康色でひきしまっている。
- 4) 歯肉の病的動揺がない。
- 5) 付着歯肉が十分にある。

### X線所見

- 1) 鮮明な歯槽頂線と歯槽硬線の連続性。
- 2) 鮮明な歯根膜線と歯槽硬線の均等化。
- 3) 鮮明かつ、ほぼ均等な歯槽骨梁が認められる状態をいう。

(デンタル、イマージネーションより)

以上2つの文献を引用しましたが、今回私は日常臨床における治療、安定とは何か、メンテナンス出来る状態とは何かを、デンタルX線像を中心に症例を通して考えてみましたので報告いたします。



### 症例

48才、男性

初診日 S 63年 6月23日

### 口腔内所見

$\frac{7}{7} \sim \frac{6}{7}$ の歯肉に、発赤、腫脹と歯牙動揺が認められ、4～8mmの歯周ポケットとプロービング時の出血が認められ $\frac{6}{7} \mid \frac{6}{7}$ に第Ⅲ度の分岐部病変が認められた。

### X線所見

$\frac{7}{7} \sim \frac{6}{7}$ の歯槽頂線の消失とその下部には反応性の骨梁の硬化像が認められる。(図1)

### 処置

①初期治療 (担当衛生士、工藤幸子)

- 1) TBI、ルートプレーニング。

2)  $\frac{6\ 5\ 4\ 2\ 1}{7\ 5\ 4\ 3\ 2} \mid \frac{1\ 2\ 4\ 5\ 6}{2\ 4\ 5\ 6}$  歯内療法。

3)  $\frac{7}{6\ 1\ 1\ 8}$  抜歯

4) テンポラリー・レストレーション (ポスター・サポートの確立と、咬合の安定化。)

## ②再評価

## ③歯周外科

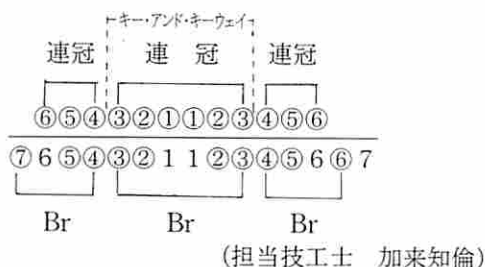
1)  $\frac{6}{7\ 5\sim 2} \mid \frac{6}{2\sim 7}$  FOP

2)  $\frac{6}{7} \mid \frac{6}{7}$  ヘミセクション

④プロビジョナル・レストレーション (アンテリアー・ガイダンスの再構成)

## ⑤再評価

## ⑥最終補綴



## 〈この症例を通じての考察〉



モチベーションの不足と患者さんの仕事の関係で途中2回の治療中断のために最終補綴まで2年を要した。

補綴後、3ヵ月のX線所見において、全歯牙辺縁部に、歯槽頂線、歯槽硬線が明瞭となり、連続性が認められ、骨梁も均等化傾向にあり、

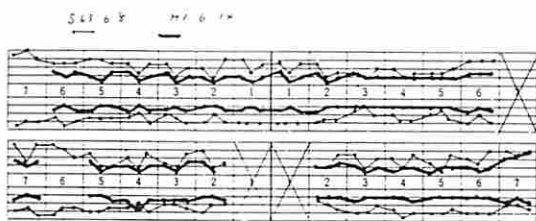
歯周組織は安定していると思われる。(図2)

口腔所見においても炎症は、ほぼコントロールされている(図3~7)



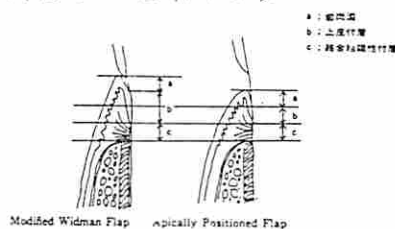
「7は抜歯を勧めたが、承諾を得られず、3は補綴物仮着中、歯髄炎のため抜歯した。

この症例の反省として、この時期の私の歯周外科の考え方は、ポケットの再付着、減少(Pocket Reduction)を目的としたmodified Widman Flapをほとんどの症例に用いていたが、この症例では結果的に、数ヵ所に3~4mmのポケットを残してしまい、メンテナンスに問題を残した。(図8)



この症例の様に水平型骨欠損の症例においては、ポケット除去(Pocket Elimination)を目的とした、apically Positioned Flapを用い、積極的に生物学的幅径(Biologic width)を獲得し、メンテナンスしやすい環境にすべきだったと反省している。(図9)

歯槽の可変性



おわりに

歯科医療の技術進歩により、医療は多様化し、そのために細分化された資料管理、患者管理が必要とされます。特に本症例の様な、重度歯周疾患の治療および管理には有能なパラデンタルスタッフの協力が必要であります。一方最近では人手不足により、パラデンタルスタッフの人材不足、質の低下をよく耳にします。私自身、歯科医療の他に生計をたてる方法はなく、明るい将来を考える場合、患者さんとのコンセンサスを得るためにはスタッフの確保、育成が不可欠であり、一小企業の経営者の責任として、スタッフの生きがいのある魅力ある職場づくりを考えねばならない時代になった事を痛感する毎日です。何か良い知恵があれば教えていただければ幸いです。

## 《ちょっとBREAK》

### パートII



### 護良親王が後醍醐天皇に謀反した事実はない

後醍醐天皇は、討幕のさいに、比叡山を味方につけるべく、その布石として早くから皇子をつかわしていた。

尊雲法親王は20歳の若さで天台座主となり、元弘の乱が起ると、いち早く還俗して討幕のために立ち上がった。すなわち大塔宮護良親王（「だいとうのみやもりよししんのう」とも）である。

そして建武政権においては、兵部卿、征夷大將軍となり、武家の棟梁足利尊氏と対立し、新政府の将来のために、尊氏を除くよう父天皇に進言している。

建武2年（1335）、執権北条高時の遺児時行が、

信濃で挙兵し、鎌倉にせまると（中先代の乱）、天皇の子成良親王を奉じて鎌倉の地を守っていた尊氏の弟直義は、鎌倉を離れるにあたって、同地に捕われの身にあった護良親王を家来の淵辺義博をつかわして殺害している。

このように足利直義が刺客を送って、親王を殺したのは事実であるが、それではなぜ護良親王は鎌倉に幽閉されていたのであろうか。

『梅松論』や『保暦間記』によると、親王が謀反を企て、皇位を奪おうとしたとあり、そのため天皇は親王を捕えて、鎌倉に流罪とし、親王にとって敵方ともいべき足利氏に、親王をひきわたしたのであるという。

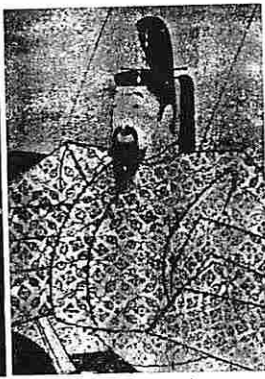
後醍醐天皇も、おそらく護良親王、楠木正成、新田義貞、名和長年らとともに、尊氏をしりぞけようと謀ったものと伝えられる。

そのことが事前に尊氏側に洩れ、天皇は政権維持のため、やむなく親王一人を人身御供として、足利氏にひきわたしたのであろう。一説によれば、捕われた親王が、尊氏よりも、むしろ天皇の方がうらめしいと言ったというのは、その間の事情を示すものであろうか。

新政府における公武の対立が、親王の逮捕という事実になってあらわれたというのが真相のようである。そして護良親王はその犠牲者となったのである。

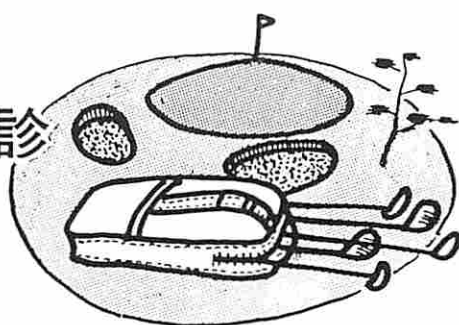


護良親王



後醍醐天皇

本日休診



## 『第2回 ウルトマラソン別府・熊本140km ギブアップ顛末記』

—再挑戦、再リタイア—、煩惱が未だ断ち切れぬ108kmの道のり—

奥田良樹

1年間、夢にまで何度も見、走り込んで挑戦したウルトマラソン（別府、熊本間140km）は、去る5月3日、4日にかけて行なわれ、昨年の85km地点でのリタイアに続き、今年も108km、立野の赤い橋のたもとで無念のリタイアとなってしまった……。

毎朝5時30分起床、暗い中、立田山山頂をめざし何10回となくかけ登り続け、今年に入ってフルマラソン（42.195km）を2回走破し、好きなゴルフも麻雀もひかえて、3月240km 4月360kmと走行距離をのばし、アップダウンも充分にトレーニングを積み、体重も3kg落とし、体調、気力共ベストで挑んだレースであった。

### 〈別府・海地獄〉

ここがスタート地点。全国各地から40名（内女性5名）のクレイジーな連中が続々と集結。皆いい顔をしている。北海道からも参加あり。一番若いのは17才の岡山の高校生の2人。53才が最高年齢。40才台が一番多い。やはり皆スリムである。

このレースを企画したのは私の属する熊本CTC（クレイジートライアスロンクラブ）。実行

委員20数名で15回程の会議をくり返し細かく計画、立案して行った。長い距離になる為、選手のチェックが大変で、エイドの場所とリタイア者の収容が難題だった。

### 〈暗闇の中のスタート〉



スタート前のエールで後姿が私です

5月3日22時、ハデな蛍光色のウェア、タスキ、懐中電燈、リュック、手袋の異様なイデタチの前でエールをかわし、静かに、そして少しのエキサイティングな声を出して国道57号線の15kmも続く登り道に入って行った。長い沈黙の世界の始まりである。道が狭く、曲がりくねっていて、車がすぐ横をフルスピードで飛ばして行くので、ペンライトを足もとと後方から来る車にも見えるようにして走って行く。

### 〈乱れ動く心〉

イチニ・イチニ、ゼイゼイ・ハーハー。これが無限に単調に続いて行く。はたして完走できるだろうか、いや完走するのだから夢、希望、挫折、不安、あきらめ、そして勇気。だめかも知れない、いや十二分に努力してきたからゴールできるはずだ。煩惱がのたうち回る。

いつの間にかペンライトの電池がきれ、真暗な世界となる。昨年は何人かの集団の中で走って行ったが、今回はマイペースで走る為、1人旅。湯布院を0時30分頃ぬけ、仲間がエイド（バナナ、カロリーメイト）を用意して待っているチェックポイントの水分峠（30km地点）に1時35分着。小休止して栄養補給。次は20km先の飯田高原（ここではボランティアの連中がうどんの用意をしている）を目指す。この辺から歩きと走りを交互にくり返して行く。フクロウの声と自分の足音だけの世界の中に、静かに静かに小田の池が姿を現わす。レイクサイドのホテルにはまだ起きている人がいるのか点々と部屋のあかり。

### 〈ボランティアの応援があるから走れる〉

飯田高原50km地点。気温3℃。漆黒の闇の中、焚火に照らされて仲間とボランティアの連中がスポットライトで照らし出されるように浮かび上がり、地獄の中から天国の世界へ。

汗びっしょりで、冷えきったウェアと手袋をかわかし、うどんをゆっくり味わい、再び孤独の世界へ。夜明けは長者原の大草原。徐々に闇が明に移行していく大自然のいとなみは息がつまる程美しく感動的である。

### 〈燃え上る気力〉

標高1330mの牧之戸峠を6時26分クリアー。瀬之本高原7時35分、元気に通過。そして83km地点の城山展望所に10時着。店の食堂に入って「山かけうどん」を注文。一睡もせず12時間走り続けている為、かなりバテる。しかしここで

鋭気を養い気合を入れて外輪山の急な下りをスローペースで下る。85km地点。昨年リタイアした場所だ。目の前に阿蘇の五岳がそびえ立つ。昨年は阿蘇の山々にひれ伏し涙したが、今年は燃えあがるような気力が充満し、胸が熱くなった。「よし行けるぞ」。



午前6時頃60～70kg地点産山村付近にて  
まだまだ元気。気合充分背中のリックには着替えとバンドエイドとアメほしぶどう等の携帯食

### 〈これから先は書きたくない〉

ウルトラマラソンは心と痛みとの戦いだと思う。50kmを過ぎると当然あっちこっち痛みが出てきたりスタミナぎれで気力がなくなったりしてくる。一番やっかいなのが「悪魔のささやき」で、「もう十分走ったからこの辺で止めても誰も何も言わないよー」としつこくささやいてくる。この声に耳をかたむけたら、マメが出来たり、筋肉がケイレンしたり、腫れたりして、いつの間にか本当にリタイアになってしまうのだ。

一の宮に入ったあたりから左足のつけ根が痛み出し、くま牧場に着いた頃、腫れてきて100km地点あたり（プリンスゴルフ場入口）で走れなくなり、3時間ビッコをひきながら赤い橋までの8kmを歩いては休みして頑張ったが、15時10分、収容車に乗り込んだ。



ゴールは藤崎宮、車に収容され6時すぎ「まぼろしのゴール」アアア！

17時間10分、108km煩惱の世界のリタイアだった。40名の参加者中、完走者30名（女性3名）。トップは13時間28分、ラストは25時間53分だった。

#### 〈追記〉

6月30日雲仙、普賢岳の爆発による津波にビビりながら天草国際トライアスロン大会に出場。第1回から今回までの7年連続完走。私にとってこの大会は“ボシタ祭”なのであります。そして、また来年も5月の連休中はやまなみを走り、6月には天草の海を泳いでいることでしょう。45才にもなるというのに…

## 広報委員会よりお知らせ

### 1. 73号「中岳」の誤まり

14ページの委員会名簿のなかの厚生委員会の委員長と副委員長を取り違えていました。

(誤)

(正)

◎奥田 洋実      ◎柿原 訓  
○柿原 訓      ○奥田 洋実

### 2. 「ステディグループを追って」の

#### 原稿募集

市の会員の先生が多数入会され、活発に活動しておられる勉強会を広報紙に記載しようと思います。私こそは又はわが会をと思っておられる方々の原稿を募集しますので、市事務局または市広報委員に応募して下さい。アンケート用紙、原稿用紙を送付します。

## 新 入 会 員 紹 介



1. 氏 名 中 原 孝 (中原歯科クリニック)

2. 住 所

(自 宅) 熊本市黒髪1丁目11番14号ロマネスク黒髪603 TEL344-0806

(診療所) 熊本市本荘6丁目4番4号

TEL364-6480

3. 生年月日 昭和33年1月7日

4. 趣 味 マリンスポーツ、ゴルフ

5. 好きな言葉 一期一会

6. 経 歴

S51年3月 熊本県立熊本高等学校卒業

S57年4月 九州大学歯学部入学

S63年3月 同校卒業

S63年4月 堤歯科医院勤務

H3年4月 同医院退職

7. 家族構成

妻 : みゆき (28才)

長女 : 亜由美 (6ヶ月)



1. 氏 名 山 本 資 晴 (わかば矯正歯科クリニック)

2. 住 所

(自 宅) 熊本市新大江3丁目13番51-203号

TEL381-2862

(診療所) 熊本市新市街11-11第ロータリービル5F

TEL324-3958

3. 生年月日 昭和35年6月18日

4. 趣 味 ゴルフ

5. 好きな言葉 石の上にも3年

6. 経 歴

S54年3月 大分県立別府鶴見ヶ丘高等学校卒業

S54年4月 福岡歯科大学歯学部入学

S60年3月 同校卒業

4月 同校歯科矯正科専攻生入学

S61年3月 同校退学

4月 同校大学院博士課程入学

H2年3月 同上卒業

4月 同校矯正科勤務

7. 家族構成

妻 : 陽 子 (26才)

: 子 9月出産予定



# 会 務 報 告

## 理 事 会

| 月 日   | 協 議 題                      |
|-------|----------------------------|
| 4月17日 | 第33回理事会（総務・庶務、会計、委員会報告、協議） |
| 5月22日 | 第34回理事会（総務・庶務、会計、委員会報告、協議） |
| 6月19日 | 第35回理事会（総務・庶務、会計、委員会報告、協議） |
| 7月16日 | 第36回理事会（総務・庶務、会計、委員会報告、協議） |

## 広 報 委 員 会

| 月 日   | 協 議 題                                        |
|-------|----------------------------------------------|
| 4月10日 | ・「中岳」73号編集会議                                 |
| 4月24日 | ・「中岳」73号第1回校正<br>・「かわら版」5月号編集                |
| 5月10日 | ・「中岳」73号第2回校正<br>・文章の書き方についての講義（熊日新聞より講師招いて） |
| 5月24日 | ・「中岳」74号編集<br>・「かわら版」6月号編集                   |
| 6月3日  | ・「かわら版」6月号校正                                 |
| 6月25日 | ・「かわら版」7月号編集<br>・「中岳」74号編集会議                 |
| 7月10日 | ・「中岳」74号第1回校正<br>・「かわら版」7月号校正                |

## 医 療 管 理 委 員 会

| 月 日   | 協 議 題                                                             |
|-------|-------------------------------------------------------------------|
| 4月23日 | ・平成3年度事業計画について<br>・保険給付外基準料金表作成について<br>・熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業について    |
| 5月8日  | ・スタッフ研修セミナーについて<br>・熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業に対する協力医の把握について              |
| 5月21日 | ・訪問歯科診療協力医把握について<br>・保険給付外基準料金表作成について<br>・税務講演会について（7月予定）         |
| 6月7日  | ・在宅寝たきり者診療協力医の把握について<br>・税務講演会について（7月予定）<br>・補助者講演会について（8/31、9/1） |
| 6月25日 | ・在宅診療協力医名簿作成について<br>・保険給付外基準料金表配布について<br>・税務講演会について（7月予定）         |
| 7月15日 | ・在宅診療協力医住所録作成<br>・在宅診療手引書作成<br>・協力医増強依頼文作成                        |

## 社 保 委 員 会

| 月 日      | 協 議 題                                                                                                                                    |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 月 6 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会の社保説明会</li> <li>・ビデオ説明会（3／15）の打ち合わせ</li> <li>・スルフォン床義歯の技工料金について</li> <li>・疑義解釈について</li> </ul> |
| 4 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・寝たきり者歯科保健推進事業実施要綱について年間事業計画</li> </ul>                                                           |
| 5 月 8 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本歯科医師会疑義解釈通知集についてのディスカッション</li> <li>・歯科点数早見表製作について</li> <li>・広報委員会への社会保険 Q and A</li> </ul>     |
| 6 月 5 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅訪問歯科診療について</li> <li>・点数早見表の作製</li> </ul>                                                       |
| 7 月 3 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ研修会“咬合”社保関係打合せ</li> <li>・点数早見表作製検討会</li> </ul>                                                |

## 学 術 委 員 会

| 月 日      | 協 議 題                                                                                                              |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 5 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間事業計画について講演会 3 回ビデオ研修 3 回救急蘇生 1 回</li> </ul>                              |
| 4 月 25 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3 年間のマスタープラン</li> </ul>                                                    |
| 5 月 15 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術活動ノマスタープランについて</li> <li>・平成 3 年度年間計画</li> <li>・訪問実施の学術講演会について</li> </ul> |
| 6 月 20 日 | 講演会、ビデオ研修会、勉強部屋の内容及び担当者の決定                                                                                         |

## 口 腔 衛 生 委 員 会

| 月 日      | 協 議 題                                                                                                                 |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 16 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事説明</li> <li>・母と子のよい歯のコンクールについて</li> <li>・東部保健センター 3 才児健康診査について</li> </ul> |
| 5 月 10 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・採点基準について</li> </ul>                                                           |
| 6 月 12 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ素塗布日程</li> <li>・母と子のコンクールの反省会</li> <li>・市の保健課との懇親会</li> </ul>               |
| 7 月 11 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フッ素塗布</li> <li>・母と子のコンクールの反省会</li> </ul>                                      |

## 厚 生 委 員 会

| 月 日      | 協 議 題                                                                                                       |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月 14 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール大会についての検討会</li> <li>・日程変更 6 月 30 日－7 月 28 日（県立体育館）</li> </ul> |
| 6 月 18 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール大会について</li> </ul>                                             |
| 6 月 26 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボール大会について</li> <li>・協力委員との合同委員会</li> </ul>                       |

## 学科歯科委員会

| 月 日      | 協 議 題                                                                                                                                                                        |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新メンバー紹介</li> <li>・事業計画の説明</li> <li>・熊本市歯科医師会年表・年史の件</li> <li>・保育園の園医の推薦</li> </ul>                                                   |
| 5 月 10 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の衛生週間に関するビデオ・映画・スライド等の貸し出しについて</li> <li>・ビデオカセット購入について</li> <li>・貸し出し状況の現状について</li> </ul>                                           |
| 6 月 26 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の衛生週間に関するビデオ・映画・スライドの貸し出し状況</li> </ul> <p>平成3年度学校医謝礼金年額改定案<br/>         全国学校保健大会<br/>         熊本県学校保健大会<br/>         全国学校歯科保健大会</p> |
| 7 月 19 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本市職員及び家族の歯科検診について</li> <li>・全国学校歯科医協議会</li> </ul>                                                                                   |

## 訪問歯科診療実施委員会

| 月 日      | 協 議 題                                                                    |
|----------|--------------------------------------------------------------------------|
| 6 月 7 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本市衛生総務課との検討会</li> </ul>         |
| 6 月 14 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問歯科診療実施について</li> </ul>          |
| 6 月 21 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問歯科診療についての保健所との検討会</li> </ul>   |
| 6 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本市在宅寝たきり者歯科保健推進事業説明会</li> </ul> |



私の家のすぐ近くに有名な進学塾があります。帰宅が遅くなる夜更けに、そこを通りかかると我が子の帰りを待つ父親や母親の姿にしばしば出くわします。私は、その光景を見るたびに考えさせられることがあります。

子供の勉強の為に両親が全面的に協力しなければ現代の受験戦争は生き残れないのか。

さらに、親におんぶされながらも難関を乗り越えてきた子供達が、はたしてこれからの時代をどれだけ力強く、独創的に生きていくことができるのでしょうか。

私の少年時代と現代の子供の生き方とを比較して、あれこれと考えをめぐらせること自体、自分が頭の硬いおじさんになったのではないのかということも実感される昨今です。

(T. N)